



関西学院大学、悲願の初優勝！！

PHOTO:Reiko Iijima

Match Review Result & Report

Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

2015年8月16日(日) 18:00キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/曇 入場者数/5869人

明治大学	0	0-0 0-2	2	関西学院大学
		得点	79分 池田優真(呉屋大翔)	
		(アシスト)	86分 中井栞吏(上田智輝)	

ともに初優勝をかけた一戦。MF8,小林成豪(4年)を出場停止で欠け関西学院大学はMF2,岡山宗星(3年)を左サイドで起用。チームは高い位置からプレスをかけてエースFW13,呉屋大翔(4年)にボールを集めようとする。明治大学は持ち前の安定した守備からDF2,室屋成(3年)の攻撃参加、FW11,藤本佳希(4年)の突破からチャンスをつかみがう。序盤は互いにリスクを負わず、堅実な入りとなった。0-0のまま迎えた後半、動いたのは関西学院大学だった。成山一郎監督は「昨年の大学選手権決勝(流通経済大学戦)では『采配に失敗したらどうしよう』とびびってしまい、先制されてから慌てて選手交代をした。今回は自分から勝ちをつかみにいった」という言葉通り、55分にMF26,池田優真(4年)、76分にはFW19,中井栞吏(2年)、MF6,小野見弘(4年)と攻撃的な選手を次々に投入。「点を取りに行く」というメッセージをピッチに伝えると、79分、左サイドから池田が蹴ったクロス気味のボールが、相手DFに当たってコースが変わり、そのままゴールに吸い込まれて先制。さらに86分にはGK1,上田智輝(2年)のキックから高くバウンドしたボールに対し、中井が相手DFと体をうまく入れ替え、そのまま豪快にミドルシュートで追加点をたたきこんだ。明治大学も両サイドの室屋、DF6,高橋諒(4年)が高いポジションをとって攻撃を仕掛けたが、最後まで集中力を保った関西学院大学守備陣を崩せず、そのままタイムアップ。関西学院大学は昨年12月の大学選手権に続く決勝戦で、DF3,井筒陸也(4年)は「(去年は)初めて決勝について、それだけで周囲は喜んでくれて、決勝戦はどこか気持ちがふわふわしていた。今年はもう、2位では誰も満足しない。日本一しか頭になかった」と。昨年の悔しさをきっちり晴らし、「西の雄」が悲願の頂点に立った。

